時事新報定價
時事新報ハ一年三百六十五日一日モ休刊セズ其代價送料廣告料ハ左ノ如シ
一枚二錢○一箇月前金五十錢○三箇月前金一圓五十錢○六箇月前金三圓
一箇年前金六圓
○時事新報社ヨリ直接ニ郵便ニテ送送スルモノニ限リ本文定價ノ外ニ一箇月二十六錢ノ郵送料ヲ申受ク

時事新報廣告料前金

	五號活字ニテ一行廿四字詰	一行ニ付一日限	一行ニ付二日以上六日迄	一行ニ付七日以上十五日迄	一行ニ付十六日以上
自一行至十行	十錢	八錢	七錢二厘	六錢八厘	
自十一行至卅行	九錢	七錢	六錢三厘	五錢九厘五毛	
三十一行以上	八錢	六錢五厘	五錢八厘五毛	五錢五厘	

時事新報

無用の人力と如何にす可きや（前號の續）

文明の利器偉々遍んで人力を省くの工風のごとき容易なれども省かれざる人力と有用に轉じて職業に就かしむるの方法はこれを求むるの困難少からず我日本にも近來は諸々文明の利器を增して在來の勞力者と驅逐する不憫の狀態遍うらず起らん中にも著しきは一昨年の冬より昨年に掛け全國各所に起る所の鐵道事業是なる可し僅々一箇年の其間に新に起りたる會社の數都合十社にして既に本免狀を受けたるのみか工事の排斥意外に早く本年中開業に至らんとする者もあれば或は又目下線路を測完し暫らく假免狀に依て事業の計畫を爲せもあり前途の運命一盛又一衰して樣々の顚像もあるとあらんと雖も兎に角に今日の處に於ては豫約株も粗ぼ聚まり就れの線路も工事の竣成期す可き者の如し先づ東京近傍より指を屈するに兩毛鐵道會社の線路は野州小山驛より桐生足利と經て上州前橋に到らんとし水戸鐵道も小山より結城、下館、笠間を經て常州水戸に達するの計畫整ひ、山形の鐵道は宮城縣下白石驛より高畑山形に傍て大石田に線路を延ばさんとす而して甲信鐵道會社は相州御殿場より甲府に出で信州松本に達して其線路を官線に繋がんとするなれば甲武鐵道は新宿より八王子に線路を設くるの企てあり更に關西地方に至り大坂鐵道會社の本線を大坂に起して勢州四日市に連絡を通じ又大和の奈良櫻井等各地への支線を敷のんとし、關西鐵道會社は江州草津より四日市を本線とし桑名を經て尾州熱田の東海道官線鐵道に接續し先更に支線と丹後舞鶴大和奈良の兩地に延ばすの設計なり次で山陽鐵道會社に至りては神戸より姫路、岡山、廣島を經過して下ノ關の海峽まで又峽を隔て九州鐵道會社に於ては豐前の門司小倉より筑前博多、筑後久留米に由て一は熊本八代に一は佐賀長崎まで各線路を延ばさんとするの計畫なり之に加ふるに日本鐵道會社、仙臺以北青森までの本線に鐵道局の工事に係る東海道鐵道、關東鐵道、信越鐵道の三線相尋で落成するは無論にして其規模は小なるも讃岐鐵道と讃州丸龜より多度津、琴平に其線路を布のんとして政府より其免狀とも下附せられ之以上官線及び日本鐵道會社の線路を除き全く昨年中に起りたる新會社の數と算ふるも既に十社にして就れも工事着手の計畫を爲さざる者なし斯て諸會社の鐵道布設愈々落成するまでに爾今幾年を費す可き乎測め知り難しと雖も早晩落成と與に共に此地方無數の勞力者は恐る可き鐵道の競爭に會して大食の運と失とんは明易況れ理に乎ずや即ち文明の利器遍んで貧力を益きたるに作用おれども惰かれたる無數の人力を驅逐より如何なる處に費用し得可きやは何人と雖も蓋し考察ある可らず別事なれども或る人の話しに今日東京府下に於て一ケ年の米の消費と大數一百萬石と看積り從前日本流の精米法に因りこれを仕上ぐるには一日一俵と通則として三百六十五日の間一人の舂上ゲ一百四十石即ち一百萬石の精米を得るに少くも七千以上の米舂人夫を要したるに五六年來西洋式の精米器械追々行はれ來りて手舂きの法は足蹈ての法と爲り足蹈の法は更に變じて水力若くは蒸汽に依賴し純然たる洋式の精米器械を用ふる者次第に多く今日にても府下醫要白米は三分一は器械舂きなりと雖も暫らく俗間の信を慮ふが爲めに表面には在來日本風の手舂き器械と用ふるを示して以て獨り窃に洋式の器械を運轉する者深川邊の米穀問屋概ね然らざるなし然り而して今後の勢を如何にと云ふに洋式精米法の日本精米法に優るは萬々にして特に費用の點より觀れば利害得失同日の談ならざるが故に在來の米舂人夫い早晩みれに驅逐せられて外に新職業を求めざる可らざるの困難に陷るい必至の運命なりと云へり今日に在りて新舊器械競爭の途にして勝敗速に決せざるより今の米舂人夫ども一時に職業を失して爲めに路頭に迷ふ如きは奇禍あらずと雖も昨今既に非常に其數を減じて今も尙ほ頻りに減じつゝあるの事實は米穀商人の語る所なり洋式の精米器械を用ひて少しく其規模を大にすれば一時間に二十石餘一晝夜五百石の白米を得るは容易なりとして府下全體の需要米を悉く引受くる者とするも器械都合六十石餘一晝夜五百石の白米を得るは容易なりとして府下全體の需要米を悉く引受くる者とするも器械都合六使役して六場傭に三百人に過ぎず在來七千の人夫に代て此れ費用多少の比較論を竢たざる所なれば綜合へ今日一時に交代の急變なしとするも他年の後ち優勝劣敗の作用に任せ徐ろに其成跡を卜したらば前條今の三百と以て昔の七千に代ふるの觀、其必無を期す可らず區々たる精米の一事にして既に然り其他紡績、織物諸般文明の利器の働、一として勞力を省て無用の人と作り出さざる者なきに之に加ふるに鐵道汽船の便を以てす今後勞力者の成行察せずんばある可らず

前記の事實違ふとなくば日本に於ても爾今文明の利器の作用と與に無用の勞力者を生ずるは必然の理なるが故に早く之を有用に轉じて職業生活と失はしめざるの工風と爲すは經世の士の今に及んで慮め心得ある可き事ならん

（未完）

○民事訴訟の評　一昨十二日の本紙社說欄第二段第五十、五十一、五十二の三行に跨り「唯の一人にても可なるの理なり何となれば民事訴訟には主任判事一名の外他に陪席の法官と要せざればなり」とあるを下の如く改む「僅か三人にても可なるの理なり何となれば控訴院に於て一訟廷を開くには主任陪席の判事を合せ三名れ法官にして事足ればなり」

官報

○大藏省告示第二十三號　大坂第三十四國立銀行ノ義明治二十一年三月十七日ヲ以テ大和國添上郡奈良東城戸町三十九番地ニ支店ヲ設置ス

明治廿一年三月十三日　大藏大臣伯爵松方正義

○辭令

陸軍步兵大尉　東鎭英敬

在巴里公使館在勤ヲ免ス　交際官試補　宮川久次郎

年俸五百圓下賜　交際官試補　宮川久次郎

運商局勤務ヲ命ス（以上三月十日外務省）　交際官試補　宮川久次郎

備後國御事被仰付（三月十日內閣）

特事新報

○天然痘　香港天然痘の流行い前日に比すれは少しく衰勢を呈したり即ち去月十一日より同十八日に至る一週間の死亡者は都合二十八人（此外多病にて死亡せし者八十八人）なりしと同港我領事館より通報ありたり（外務省報告）

○紙壓製造會社の創設　近頃倫敦府に創設せる紙壓製造會社の資金額は十二萬磅にして不日議事賣權と得さる上は速に若干の製造場を建設する筈なり該製造法發明者の說に曰く紙壓い總て總晩に運送するへ允酒類其他の流動物を盛りて運搬する點に於て最も便利なるか故に早晩硝子壜の需用を減却するに至るへきとは疑を容れさる所なり云々（本年一月二十一日露國ノーウオスチ）

雜報

○朝鮮の歐米派遣公使　曩きに朝鮮政府より米國へ派遣せし公使朴定陽氏の書記官となりて隨行せる醫師米人アーレン氏い四年間朝鮮に在留したるが故に同國の事情にい公私とおく總べて通曉し居れる人なり氏は朝鮮に赴むくより前三年間支那に在つて充分同國の語に通じ其後朝鮮に到りしはい恰かも同國京城に於て內亂ありし時にして閔泳翊氏は之が爲め重傷を蒙り存命覺束なかるべしと思はるゝ程なりしにアーレン氏は此重體の患者と引受け熟練と經驗の功によりて左しもの金瘡も終に全く癒ゆるに至れり依て閔泳翊氏はその回生の功に報せんが爲め朝鮮政府に勸めて公立病院長及び醫學校長となし侍醫に任じたりと云ふ偖公使朴定陽氏の一行が米國へ渡航したる事に付き同國內にも種々の風評ありて朴定陽氏い全權公使の資格と有するにあらず代理公使なりと贈するもの少なからざるが故にアーレン氏は此等の誤謬を正さんが爲め朴定陽氏の承諾を經て桑港エキザミナー新聞の記者に物語り同記者は之を紙上に公にせし公使派遣の始末と見るに曾て時事新報紙上に都度々々記載せし所と大略異る所なしと雖も一目に瞭然たらしめんが爲め全文の要を譯載せる事左の如しアーレン氏曰く此度朝鮮國より公使朴定陽氏を當米國に派遣したる實情を明にせんが爲めにい往事に溯りて是まで朝鮮國と外國との間に起りし出來事の大略を陳べざる可らず千八百六十四年朝鮮國人は佛國の僧侶を殺せし事あり續いて又千八百六十八年米國船セリダン號の乘組人と殺し其船を燒棄てし事あり此時に當つて佛米二國は右の如く朝鮮國人の亂暴を責めて賠償を要求せんとするに際てより支那は朝鮮を以て其屬國なりと宣言し居たるが故に佛米兩國は支那に向つて賠償を要求せり然るに支那は此時言へらく朝鮮は獨立の一王國なるが故に同國人の働きたる事は同國け責任たり支那に於て與り知る所にあらずと依て佛國政府い直接に朝鮮に向つて亂暴を責め兩國の間に紛糾あり續いて米國政府も佛國と同じく朝鮮に向つて不法と責め始めは渉々敷き事もなかりしが一年を經て再び談判を開き敵や滿足を得たる事等は米國人の能く知る所にして千八百七十年以前に起りし事實あり其後千八百七十五年に於て日本と朝鮮との條約成る抑も朝鮮の地たるや支那日本の間に挾まれ之を半屬にして後に獨國の强大なるあり而して獨國は太平洋の運動を自由にせんが爲め朝鮮國と親交し同國內に於て甚全の一海港を得んとし親意懷會の乘ずべきと俟つものなり、今より殆んど五年前米國との條約成れり此等の事實と考ふる時は朝鮮は此まで全く獨立の一國たりし事又現に獨立と保ち居る事明かにして支那は恰かも其獨立國なる事を證明する重なるものなり然るに支那は朝鮮國が近來活潑の擧動を爲すを見て深く猜忌の念を起し京城に駐在公使を置く事なれども或る人の話しに今日東京府下に於て一ケ年の米の消費と大數一百萬石と看積り從前日本流の精米法に因りこれを仕上ぐるには一日一俵と通則として三百六十五日の間一人の舂上ゲ一百四十石即ち一百萬石の精米を得るに少くも七千以上の米舂人夫を要したるに五六年來西洋式の精米器械追々行はれ來りて手舂きの法は足蹈ての法と爲り足蹈の法は更に變じて水力若くは蒸汽に依賴し純然たる洋式の精米器械を用ふる者次第に多く今日にても府下醫要白米は三分一は器械舂きなりと雖も暫らく俗間の信を慮ふが爲めに表面には在來日本風の手舂き器械と用ふるを示して以て獨り窃に洋式の器械を運轉する者深川邊の米穀問屋概ね然らざるなし然り而して今後の勢を如何にと云ふに洋式精米法の日本精米法に優るは萬々にして特に費用の點より觀れば利害得失同日の談ならざるが故に在來の米舂人夫い早晩みれに驅逐せられて外に新職業を求めざる可らざるの困難に陷るい必至の運命なりと云へり今日に在りて新舊器械競爭の途にして勝敗速に決せざるより今の米舂人夫ども一時に職業を失して爲めに路頭に迷ふ如きは奇禍あらずと雖も昨今既に非常に其數を減じて今も尙ほ頻りに減じつゝあるの事實は米穀商人の語る所なり洋式の精米器械を用ひて少しく其規模を大にすれば一時間に二十石餘一晝夜五百石の白米を得るは容易なりとして府下全體の需要米を悉く引受くる者とするも器械都合六十石餘一晝夜五百石の白米を得るは容易なりとして府下全體の需要米を悉く引受くる者とするも器械都合六使役して六場傭に三百人に過ぎず在來七千の人夫に代て此れ費用多少の比較論を竢たざる所なれば綜合へ今日一時に交代の急變なしとするも他年の後ち優勝劣敗の作用に任せ徐ろに其成跡を卜したらば前條今の三百と以て昔の七千に代ふるの觀、其必無を期す可らず區々たる精米の一事にして既に然り其他紡績、織物諸般文明の利器の働、一として勞力を省て無用の人と作り出さざる者なきに之に加ふるに鐵道汽船の便を以てす今後勞力者の成行察せずんばある可らず

前記の事實違ふとなくば日本に於ても爾今文明の利器の作用と與に無用の勞力者を生ずるは必然の理なるが故に早く之を有用に轉じて職業生活と失はしめざるの工風と爲すは經世の士の今に及んで慮め心得ある可き事ならん

（未完）

○朝鮮國御事被仰付（三月十日內閣）

在巴里公使館在勤ヲ免ス　交際官試補　宮川久次郎

年俸五百圓下賜　交際官試補　宮川久次郎

運商局勤務ヲ命ス（以上三月十日外務省）　交際官試補　宮川久次郎

公使を置く事なれども或る人の話しに今日東京府下に於て一ケ年の米の消費と大數一百萬石と看積り從前日本流の精米法に因りこれを仕上ぐるには一日一俵と通則として三百六十五日の間一人の舂上ゲ一百四十石即ち一百萬石の精米を得るに少くも七千以上の米舂人夫を要したるに五六年來西洋式の精米器械追々行はれ來りて手舂きの法は足蹈ての法と爲り足蹈の法は更に變じて水力若くは蒸汽に依賴し純然たる洋式の精米器械を用ふる者次第に多く今日にても府下醫要白米は三分一は器械舂きなりと雖も暫らく俗間の信を慮ふが爲めに表面には在來日本風の手舂き器械と用ふるを示して以て獨り窃に洋式の器械を運轉する者深川邊の米穀問屋概ね然らざるなし然り而して今後の勢を如何にと云ふに洋式精米法の日本精米法に優るは萬々にして特に費用の點より觀れば利害得失同日の談ならざるが故に在來の米舂人夫い早晩みれに驅逐せられて外に新職業を求めざる可らざるの困難に陷るい必至の運命なりと云へり今日に在りて新舊器械競爭の途にして勝敗速に決せざるより今の米舂人夫ども一時に職業を失して爲めに路頭に迷ふ如きは奇禍あらずと雖も昨今既に非常に其數を減じて今も尙ほ頻りに減じつゝあるの事實は米穀商人の語る所なり洋式の精米器械を用ひて少しく其規模を大にすれば一時間に二十石餘一晝夜五百石の白米を得るは容易なりとして府下全體の需要米を悉く引受くる者とするも器械都合六十石餘一晝夜五百石の白米を得るは容易なりとして府下全體の需要米を悉く引受くる者とするも器械都合六使役して六場傭に三百人に過ぎず在來七千の人夫に代て此れ費用多少の比較論を竢たざる所なれば綜合へ今日一時に交代の急變なしとするも他年の後ち優勝劣敗の作用に任せ徐ろに其成跡を卜したらば前條今の三百と以て昔の七千に代ふるの觀、其必無を期す可らず區々たる精米の一事にして既に然り其他紡績、織物諸般文明の利器の働、一として勞力を省て無用の人と作り出さざる者なきに之に加ふるに鐵道汽船の便を以てす今後勞力者の成行察せずんばある可らず

前記の事實違ふとなくば日本に於ても爾今文明の利器の作用と與に無用の勞力者を生ずるは必然の理なるが故に早く之を有用に轉じて職業生活と失はしめざるの工風と爲すは經世の士の今に及んで慮め心得ある可き事ならん

（未完）

再版近世百曼
紙數四百四十ページ洋裝英本
全一冊●特價七十五錢

越中汽船會社
●小菅丸
兵庫行　大坂行　小網町三丁目
同月十九日品川出帆
越中汽船會社支店

西洋入齒科
東京淺